

文教産業建設常任委員会

6月9日、文教産業建設常任委員会が開催されました。各小学校、中学校、こども園を視察し、運営の現状や要望などを伺いました。また、給食の試食も行われました。

要望の早期実現に力を注ぐ

委員6名と教育長、教育委員の方々で町内の中学校、小学校4校、こども園の訪問をいたしました。各学校の校長先生や園長から、詳しい説明を受け、課題、要望などを伺い、現場の状況の一端を認識することができました。

施設の状況を見せていただく中で、子どもたちの元気なあいさつを受けました。昼食は学校給食センターで給食を試食いたしました。県内産、町内産食材を中心とした献立の内容であるとの説明でした。

6カ所の訪問を終え、帰庁後に委員会を再開して訪問で伺ったことを総括しました。

小学校では教室や床の改修、エアコンの早期設置、プールの塗装、運動場への倉庫の設置。中学校では、技術棟の改修、施設周辺樹木の伐採。小・中学校全体の課題として、トイレの洋式化への早期改修などの要望がありました。また、教員の長時間勤務減少の取り組み等の説明

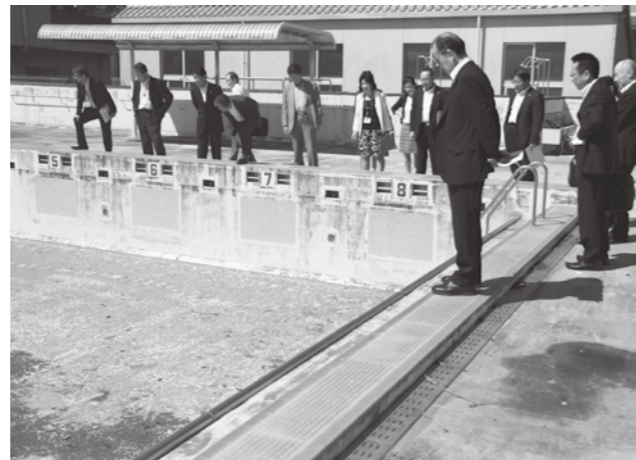
もあり、教育委員会には要望事項などの必要な検討と合わせ、実態調査に努めるようお願いすることとしました。

児童・生徒の人数の減少による空き教室の利用方法では、地区の方々の利活用等も考えているようです。こども園においては園庭の拡大、遊具の増設なども見直していただきたいと感じました。

これらの要望の早期実現に向け、力を注いでいきたいと思えます。(文教産業建設常任委員長 山口 清)



生徒と同じものを試食（給食センター）



清掃前のプール、整備が待たれる（多古第一小学校）



フィリピンから来た先生との英語の授業（常磐小学校）



運営や取り組みについて説明を受ける（中村小学校）

空港対策特別委員会

会期中の6月8日、空港対策特別委員会協議会が開催されました。航空機騒音測定結果や有限会社ティ・ティ・エスの事業報告及び利用状況等、また芝山鉄道利用者駐車場利用状況及び移転についての報告を受けたあと、駐車場や内窓効果体験ハウスを視察しました。

ティ・ティ・エスは収入増加 芝山鉄道利用者駐車場は収入減少

昨年度の航空機騒音測定結果は町内6カ所の測定局で測定され、成田空港周辺共生財団から月ごとのLden平均値が送付されていますが、それによると前年とほぼ同様の状況で推移しているとのことでした。

有限会社ティ・ティ・エスの平成28年度決算報告では、当期純利益は1124万6千円余りで多古町には1株あたり2万円の株主配当で、60万円の配当であったとのことでした。管理駐車場の利用状況は、平成27年4月にオープンした第3ターミナル及び同年8月に第2駐車場ビル付附属棟がオープンしたことにより、3万8817台増の62万4574台。料金収入では前年度比7429万円増の9億3909万円で、約9%増加したとの報告がありました。

芝山鉄道利用者駐車場は、平成28年度は芝山鉄道の利用者の減少を受け、駐車場利用者も減少し、台数は3万4395台で前年度比667台の減、料金収入は629万4100円で前年度比6万8千円の減少であったとのことでした。駐車場の移転については昨年に駐車場用地がホテル用地に売却されたことから、今までの場所から約250メートル離れた場所に移転し、6月1日から営業を開始、利用料金は以前と同じであるとのことでした。

委員全員で新駐車場と内窓効果体験ハウスを視察し、内窓効果体験ハウスではNAA（成田国際空港会社）職員の説明を聞きながら、実際に航空機騒音を体験し、その数値を確認しました。
(空港対策特別委員長 鵜澤 茂)

※Lden(エルデン)…1日の騒音値の平均を算出したもの。夜間早朝については日中より「うるさい」と感じるため数値が補正される。



芝山鉄道利用者駐車場を視察



実際の航空機の音で効果を体験



内窓効果体験ハウスで説明を受ける